



江戸時代の列島改造 と国分村

— 稲垣重綱 没後370年 —

令和6年 6月29日(土) ~ 8月25日(日)

ミニ講演会・展示解説 (13:30 ~ 15:00)

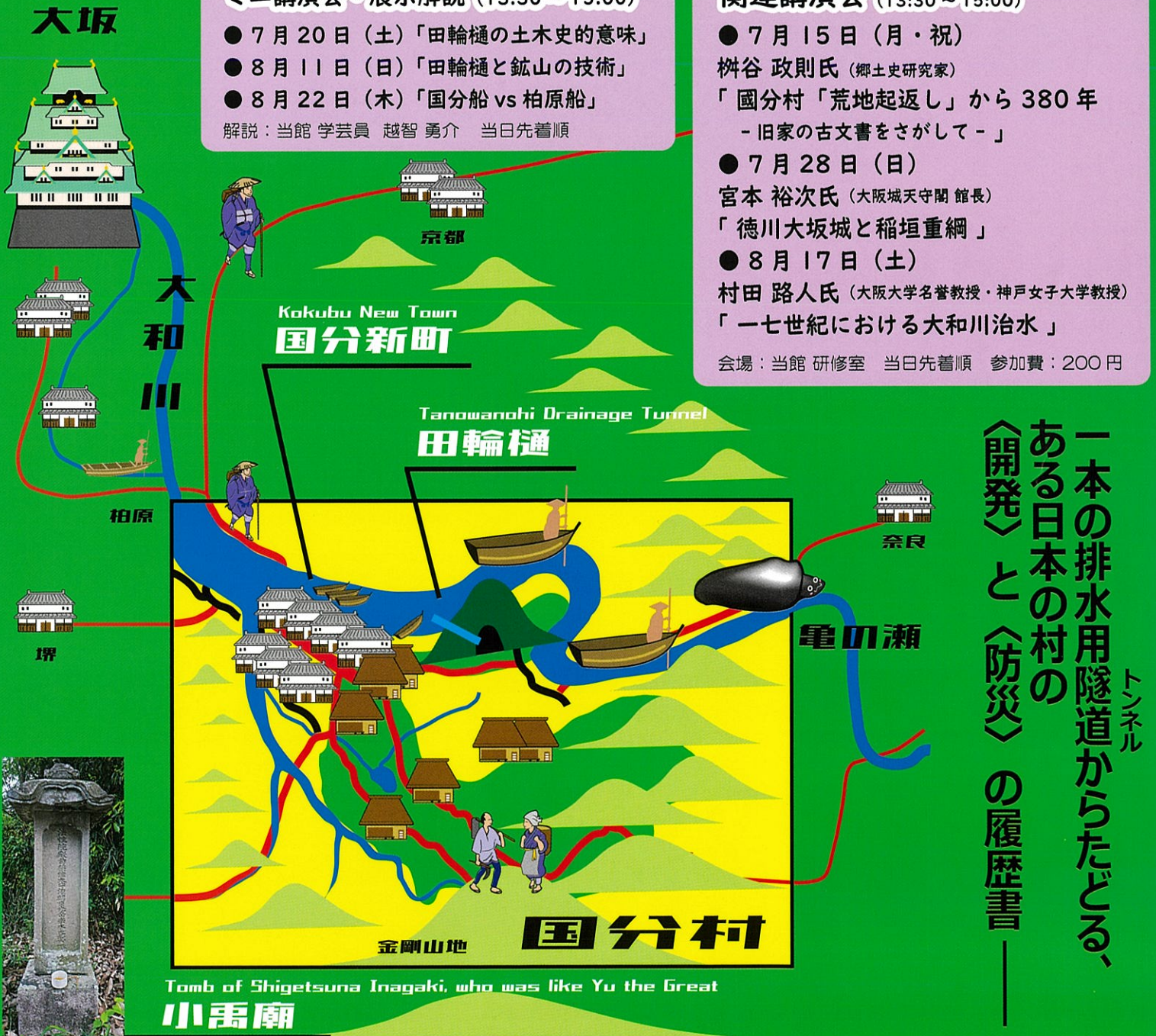
- 7月20日(土)「田輪樋の土木史的意味」
- 8月11日(日)「田輪樋と鉱山の技術」
- 8月22日(木)「国分船 vs 柏原船」

解説：当館 学芸員 越智 勇介 当日先着順

関連講演会 (13:30 ~ 15:00)

- 7月15日(月・祝)
梶谷 政則氏 (郷土史研究家)
「国分村「荒地起返し」から380年
- 旧家の古文書をさがして -」
- 7月28日(日)
宮本 裕次氏 (大阪城天守閣 館長)
「徳川大坂城と稲垣重綱」
- 8月17日(土)
村田 路人氏 (大阪大学名誉教授・神戸女子大学教授)
「一七世紀における大和川治水」

会場：当館 研修室 当日先着順 参加費：200円



一本の排水用隧道からたどる、
ある日本の村の
「開発」と「防災」の履歴書

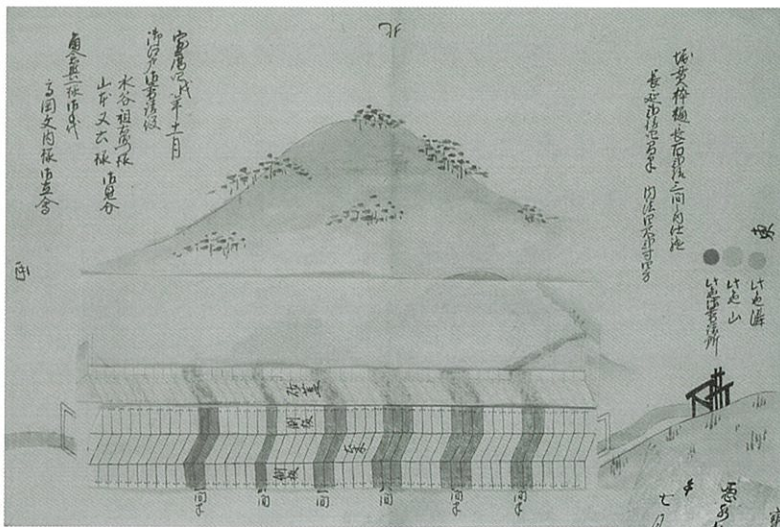
トンネル

戦国乱世が過ぎ去り、日本各地で国土開発の槌音が響いた江戸時代前期、現 柏原市域の国分村でも、大規模な土木プロジェクトが開始しました。大和川畔の芝山を穿った排水用トンネル「田輪樋(たのひ)」の開削と、水陸交通の要衝「国分新町」の建設です。トンネルの開削には、当時、日本が金銀産出量で世界を席巻していた鉱山の技術が応用されたとみられます。時の国分村領主は、大坂城代を補佐する大坂定番の任にあつて、鎖国へと向かう激動のなかで江戸幕府の西国支配に奔走した稲垣重綱(いながきひつな)の重綱(1583 - 1654)。重綱は、村の土豪を援助して工事の完成に漕ぎ着け、ひろく村人たちの経営を安定させました。その後、永く尊崇を受け、中国の伝説的な治水王「禹王」になぞらえられました。

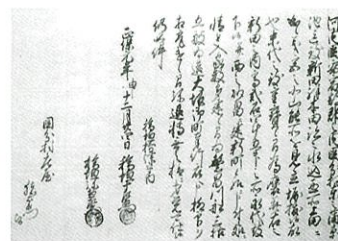
国分村は、都市大坂と大和盆地をつなぐ交通の結節点として発展を遂げ、幕末には、教育史に名高い「立教館」が設立されるなど、文化面でも成熟をみせます。一方で、田輪樋や大和川堤防による防災は絶対的ではありません、だからこそ、完成以来、それらの維持管理に注意が払われ続けてきました。村の危機にあつては、そうしたリスクの存在が、逆に地域が団結する原動力になりました。重綱の興した工事は、時どきの盛衰を超えて、今日に続く地域社会の一つの始点をなしており、重要な時代の転換点であると言えます。

今回は、稲垣重綱の没後三三〇年の節目の年にあたって、「田輪樋」を中心に、様々な資料から、国分地区の豊かな歴史を通観する展示を行います。トンネルの暗やみへのぞき見れば、そこには、日本列島の一つの「村」がたどってきた歩み、そして、目指すべき地域の未来が見えてくるはずですよ。

- 主な展示資料
- 正保元(一六四四)年 稲垣重左衛門等二名 覚(館蔵)
 - 大坂夏の陣図(個人蔵)
 - 寛永(正保期)大坂城絵図(大阪城天守閣所蔵)
 - 木守守安宛 稲垣重綱等四名 連署状(大阪城天守閣所蔵)
 - 寛延四(一七五二)年 国分村絵図(個人蔵)
 - 田輪樋木枠・模型(館蔵/柏原市市民歴史クラブ作成)
 - 鉾山で使用する道具(猪名川町教育委員会所蔵)
 - 宝暦二(一七六二)年 悪水抜樋御修覆下目論見帳(個人蔵)
 - 河内国大原郡・安宿部郡 土砂留場山内谷々図(佛教大学附属図書館所蔵)
 - 有馬温泉「日本第一神霊泉」碑拓本(個人蔵)
 - 慶応二(一八六六)年 国分村打ちこわしの資料(館蔵)
 - 昭和二六(一九五〇)年 田輪樋再建にかんする資料(館蔵)



「田輪樋御普請所絵図」(個人蔵)



正保元年 国分村 猪右衛門宛、稲垣重左衛門等 2名 覚(館蔵)

※展示品の一覧は、当館ホームページよりダウンロードできます

同時開催！ 特集展示「国分誕生 - 河内国分寺の建立 -」

- 主な展示資料
- ・ 河内国分寺跡 出土瓦(府文化)、金具、延べ石片、塔 復元模型
 - ・ 河内国分尼寺跡 出土瓦

オンライン展示解説 (Visual History Guide)

● 7月29日(月) 14:00 ~ 15:00

※Zoom を利用したオンライン配信。詳細は、当館ホームページをご覧ください

お茶の間と資料館をつなぐ！



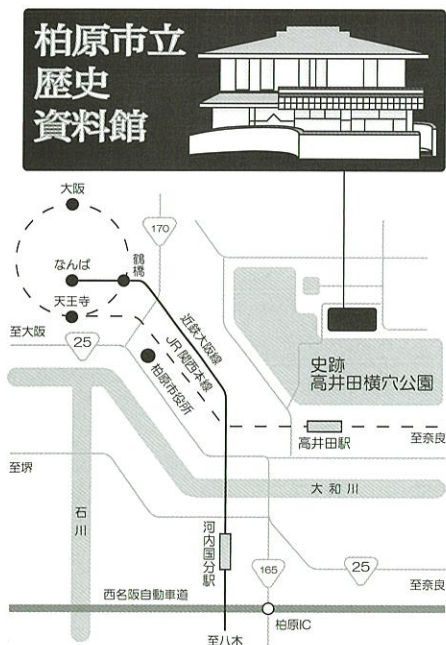
鉾山で使用する道具 (猪名川町教育委員会蔵)



河内国分寺跡出土瓦(館蔵)



アクセスマップ



— 歴史資料館 夏のイベント —

市民歴史大学「大和川・再発見」(いずれも 13:30 ~ 15:00, 13:00 開場)

● 第1回 8月10日(土)
澤井 健二氏(摂南大学 名誉教授)
「大和川の魅力と魔力」
— 古から今に至る変幻あれこれ —

● 第2回 9月14日(土)
平林 章仁氏(元 龍谷大学 教授)
「古代の天皇と大和川」
— 神武・仁徳・雄略・推古天皇と大和川 —

会場: 当館 研修室 定員: 90名(先着順) 受講料: 各 200円

「館長と学ぶ柏原の歴史講座」(いずれも 13:30 ~ 15:00, 13:00 開場)

● 7月27日(土) 「玉手山古墳群」
● 8月24日(土) 「松岳山古墳群」 講師: 安村 俊史(当館 館長)

会場: 当館 研修室 定員: 90名(先着順) 受講料: 各 200円

月曜休館(祝日は閉館) 入館無料
9:30 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

JR 大和路線 高井田駅から徒歩約 6分
近鉄大阪線 河内国分駅から徒歩約 15分

〒582-0015 柏原市高井田 1598-1
rekishi@city.kashiwara.lg.jp
TEL: 072-976-3430